

2024/7/1 (月)

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 19章 16-22節 (新約聖書 36頁)

すると、一人の人がイエスに近寄って来て言った。「先生、永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか。」イエスは言われた。「なぜ、善いことについて、私に尋ねるのか。善い方はおひとりである。命に入りたいと思うなら、戒めを守りなさい。」彼が「どの戒めですか」と尋ねると、イエスは言われた。「『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、父と母を敬え、また、隣人を自分のように愛しなさい。』」この青年は言った。「そういうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでしょうか。」イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を積むことになる。それから、私に従いなさい。」青年はこの言葉を聞き、悩みつつ立ち去った。たくさんのお金を持っていたからである。

天に宝を

金持ちの青年がイエスに「永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか」と尋ねてきました。彼は金持ちで何の不自由もない、品行方正な青年のようです。では、なぜ彼はイエスに尋ねたのでしょうか。

彼は「どんな善いことをすれば」とイエスに尋ねています。自分は善いことをしてないと思っているのでしょうか。自分は大切なこと、すべきことをしていない、怠けている、何が不安だったのでしょうか、何を恐れていたのでしょうか。

イエスは「戒めを守りなさい」と言います。「殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、父と母を敬え」と言います。実は、ここまで

は有名な「十戒」です。しかしイエスはその後に「隣人を自分のように愛しなさい」を加えています。

彼は自分に宝を積むことに夢中だったのでしょう。自分の正しさに囚われていました。最後に彼は「悩んで立ち去った」とありました。彼には貧しい人々の存在がなかったのでしょうか。自分に与えられたものを捨て生かせれば、彼は自由だったかもしれません。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはどんな人にも必要なもの、大切なものを用意しておられます。そして互いに与えられたものを分かち合うように導いておられます。どうかその喜びと感謝に与らせてください。今日から共に学び、共に分かち合った学びを生かす時です。どうか一つのステップとして次の学びへと導いてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン